

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： AI を用いた膵管内乳頭粘液性腫瘍の良悪性鑑別モデルの構築

研究の目的

膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）は、基本的には予後良好な膵嚢胞性疾患ですが、一部では予後不良な浸潤癌へと移行します。IPMN 診療においては良悪性を判断することが重要であり、良性の場合は経過観察、悪性の場合には手術治療が選択されます。現行の IPMN 診療ガイドラインでは、画像所見などに基づく良悪性の判断基準が設けられており重要な指針となっています。

しかしながら、診察時点で良性 IPMN と診断された患者さんの中には、経過観察の途中で悪性化（癌になること）される方がいらっしゃいます。残念ながら、このような経過をたどる IPMN 患者さんを事前に予測する手段は現時点ではありません。そこで本研究では、悪性化する IPMN を予測するモデルを構築し、患者さんの予後の改善を目指すことを目的とします。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 令和9年 3月 31日

対象となる方： 2000年4月から2022年12月までの間に、膵管内乳頭粘液性腫瘍に対して手術をされた方を対象とします。

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

通常診療の範囲内で得られた既存の情報を解析します。新たに検査や治療を追加するものではありません。当院のカルテを利用し、病歴、年齢、性別、血液検査、画像検査、手術関連情報、切除組織の病理所見、術後経過についての情報を、標記研究課題実施のために利用します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータの

みを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	消化器外科学講座 小笠原健太 電話 0172-39-5079
--------------	--------------------------------